

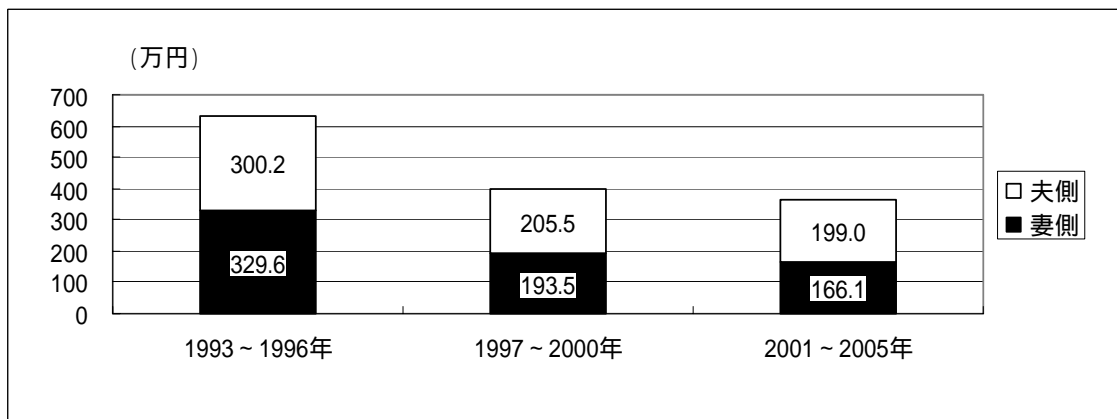
V. ジミ婚化の定着

(1) 1990年代後半よりジミ婚化の傾向

1993～1996年の期間から、1997～2000年の期間において、結婚費用の総額は急減し、2000年以降もゆるやかに減少している（図表V-1）。この結果から、いわゆる「ジミ婚」は90年代の後半より定着した傾向といえる。

なお、図表-1で「夫側」、「妻側」とあるのは、結婚費用をどちらが拠出しているかを示したものである。結婚費用の支出割合は夫側と妻側がほぼ折半で捻出している様子が、この図表からみてとれる。

図表V-1 結婚費用の総額



(2) お祝い金の割合が上昇

図表V-2は結婚費用の賄い方法について見たものである。結婚資金の約4割が夫婦の貯蓄で、3割強が夫婦の親からの援助によって賄われている。しかし、近年に結婚した夫婦ほど、夫・妻の貯蓄や親からの援助は微減する傾向にあり、代わりにお祝い金の割合が上昇している。費用をできるだけ少なくする一方で、慣習によるお祝い金の金額は減少しないため、このような結果となっていると考えられる。

図表V-2 結婚資金の内訳

